

研修医からのメッセージ

杉峯 優人氏

2016年・広島大学卒業  
現在所属の診療科/呼吸器膠原病内科  
担当患者数/1日あたり5人  
当直回数/1ヶ月あたり0回



有澤 麻美氏

2015年・徳島大学卒業  
現在所属の診療科/病理



Q 臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？

現在の病院を選んだ決め手は何ですか？

A まず県内外の多くの協力病院へ、希望すれば研修へ行くことができるというのが大きな魅力の一つだと思います。自分の勉強したいことに応じて、大学病院での研修だけではどうしても手が回らない所も十分カバーできます。また研修医の人数が多いことで、同期や先輩からの情報が豊富です。数ヶ月毎に診療科を転々とする研修ですがそのおかげで事前に予習や準備ができるので、安心して研修に臨むことができると思います。

Q 現在の研修内容について、教えてください

A 午前中は各担当の先生方と外来予診や気管支鏡検査をします。午後はマンツーマンで指導医の先生と一緒に病棟業務をこなしていきます。カンファレンス・教授回診では受け持ち患者の発表もします。準備は大変ですが、自分の中で患者さんの情報を整理することにもつながりますし、症例発表の練習にもなります。また、研修医からのリクエストに応じて適宜いろいろな先生から講義もしていただけます。

1日のスケジュール

8:30 ~ 12:30	外来予診
12:30 ~ 13:30	昼食
13:30 ~ 17:00	病棟
17:00 ~	カンファレンス

Q 臨床研修病院をどのような基準で選びましたか？

現在の病院を選んだ決め手は何ですか？

A 慣れ親しんだ環境で研修を積んで、力を付けたいと思ったことが一番の決め手でした。また、徳島大学病院では研修医一人ひとりの希望に沿ったローテートがとても充実していて、研修医ならではのフットワークの軽さを思う存分活かせると思い、研修病院に希望させていただきました。また、当直スキルアップセミナーなど研修医向けの講義や勉強会もあり、専門の先生から直接学ぶ機会が多いことも希望理由の大きな一つです。

Q 実際この病院で研修を受け、良かった点を教えてください

A 私は進路を決めていた分、研修医の間はいろいろな科をローテートしてたくさん経験を積みたいと思っていましたが、外病院も2つほど研修させていただき、さまざまな診療科を回らせてもらい、これでもかというほどローテートなどに関してたくさんわがままを通させていただき、とても充実した内容の濃い研修生活が送れています。研修センターのスタッフの方々も、その後押しをしてくださるのでとても助かります。

1週間のスケジュール

月曜日	カンファレンス/病理診断研修
火曜日	カンファレンス/病理診断研修
水曜日	カンファレンス/病理診断研修
木曜日	カンファレンス/病理診断研修
金曜日	カンファレンス/病理診断研修
土曜日	休日or自己研鑽
日曜日	休日or自己研鑽

症例ライブラリ

各病院の症例情報を検索

病院見学体験記

みんなの病院見学体験をシェア

医学WILLs

研修医と医学生交流の場からレポート



おすすめコンテンツ

医学生・研修医向けに 研修情報を多数掲載

初期研修病院	約850
後期研修施設	約550
後期研修情報	約2,300



徳島大学病院

徳島大学病院基幹型プログラムは、次の3つのプログラムを用意しています。

- ①AWA すだちプログラム：各研修医の将来のニーズに対応できるよう、充実した専門医研修につなげていくことが可能なプログラムです。協力病院は四国内のみならず全国に存在し、希望に応じた協力病院、研修科、研修期間を選択することができます。
- ②産婦人科研修プログラム：将来産婦人科医を目指す研修医を対象に、産婦人科に特化して産婦人科医療の基本的事項を研修できるプログラムです。
- ③小児科研修プログラム：小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科・小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的なレベルの研修が行えるプログラムです。

より詳しい情報は レジナビ

検索



DATA

徳島大学病院

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2-50-1  
http://www.tokudai-sotsugo.jp/  
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp

- 病床数/696床
- 常勤医師数/427人
- 指導医/102人
- 初期研修医/48人
- 後期研修医/52人
- 外来患者数/1日あたり1779人
- 入院患者数/1日あたり602人
- 給与(月収)/32万円
- 募集人員/35人

院長インタビュー



院長

永廣 信治氏

熊本大学卒業

徳島大学病院の卒後研修プログラムは、この徳島や世界で活躍する医療人を育成するためにきめ細やかに作成されています。研修医の皆さんにとって初期研修は自らの将来に大きく影響する期間ですので、この研修プログラムを最大限有効に活かして自分を伸ばしてください。最も大事なことは、自ら考え、計画し、実行と反省を繰り返しながらstep by stepに実力を付けていくことです。医療に携わる職業人として、しっかりと医の心と知識、技術を身に付けていただきたい

と思います。研修現場では、あらゆるものが勉強です。患者さんやご家族、そして医療を支える看護師や医療支援のスタッフから多くの事を学びましょう。医師には一生学び続ける覚悟と自分は未熟だという謙虚さが必要と思います。今後も徳島大学病院卒後臨床研修プログラムは進化を続けます。研修に携わる皆さま方と共に、徳島の医療そして日本・世界の医療に貢献していきましょう。